

ガラパゴスで噴火 生物への影響懸念

・ キワード ・

希少な生物の宝庫

世界遺産

現地

映像

国立公園事務所

被害

絶滅危惧種

名前: イサベラ島、ウォルフ火山



ガラパゴスで噴火 生物への影響懸念

• 単語 •

希少な = sjælden

生物 = dyr

宝庫 = skatkammer

世界遺産 = verdens kulturarv

登録 = registrere

影響 = påvirkning, indflydelse

懸念 = frygt

標高 = højde (over havoverfladen)

未明 = tidlig morgen

現地 = det pågældende sted

映像 = billeder, shots

真っ暗闇 = bælgmørkt

噴火口 = krater

映る = afbilde

国立公園 = national park

事務所 = kontor

[periode]ぶり = efter [periode]

住民 = folk

離れる = være adskilt fra

被害 = skader

国際自然保護連合 = International Union for

Conservation of Nature

絶滅危惧種 = truede arter

指定 = udpege

生息 = bebo

斜面 = skråning

• 質問 •

★子の噴火はどこで起きましたか。(大陸、国、地域)

★被害がひどかったですか。どうして？

★子の火山はひんぱんに噴火しますか。

★溶岩はどこで流れていますか。

ガラパゴスで噴火 生物への影響懸念

・ テキスト ・

希少な生物の宝庫として世界遺産にも登録されている南米の「ガラパゴス諸島」の島で火山が噴火し、こうした生物への影響が懸念されています。

ガラパゴス諸島のイサベラ島にある、標高1707メートルのウォルフ火山が25日未明、噴火しました。

現地からの映像には、真っ暗闇の中、噴火口から煙が立ち上り、赤い溶岩が流れる様子が映っています。

ガラパゴス国立公園事務所によりますと、ウォルフ火山の噴火は33年ぶりだということですが、住民のいる地域は火山から離れていて大きな被害は出ていないということです。

また、火山の近くにはIUCN＝国際自然保護連合のレッドリストに絶滅危惧種として指定されているピンクイグアナが生息しています。ただ、溶岩は生息地の反対側の斜面を流れているため、今のところ、「影響はない」としていますが、引き続き調査するということです。

えいきょう けねん
ガラパゴスで噴火 生物への影響 懸念

きしょう ほうこ いさん とうろく
希少な生物の宝庫として世界遺産にも登録されている南米の「
ガラパゴス諸島」の島で火山が噴火し、こうした生物への影響^{えいきょう けねん}が懸念
されています。

ひょうこう
ガラパゴス諸島のイサベラ島にある、標高 1707メートルの
ウォルフ火山が25日未明、噴火しました。

げんち えいぞう ま くらやみ ぶんかこう けむり あか
現地からの映像には、真っ暗闇の中、噴火口から煙が立ち上り、赤い
ようがん なが ようす うつ
溶岩が流れる様子が映っています。

こくりつ こうえんじむしょ
ガラパゴス国立公園事務所によりますと、ウォルフ火山の噴火は33
年ぶりだということですが、住民^{じゅうみん}のいる地域は火山から離れていて
大きな被害は出ていないということです。

こくさいしぜん ほんご れんごう
また、火山の近くにはIUCN = 国際自然保護連合のレッドリストに
ぜつめつきぐ しゅ してい せいそく
絶滅危惧種として指定されているピンクイグアナが生息しています。

ようがん せいそくち ほんたいがわ しゃめん なが いま
ただ、溶岩は生息地の反対側の斜面を流れているため、今のところ
えいきょう ひきつづ ちょうさ
、「影響はない」としてはいますが、引き続き調査するということです

。